

REPORT!

KORIYAMA

～Koriyama Report～ 郡山遺跡かわら版 Vol.2

発掘調査を行っている、近所にお住まいの地域の方から「ここも調査しているの？いつからしているの？いつまでするの？」とお声掛けいただくことがあります。そこで、今回は「郡山遺跡のあゆみ」についてご紹介します。

郡山遺跡のあゆみ

遺跡発見のきっかけは、大正3（1914）年にレンガ工場による粘土採掘の際に漆入りの土器が掘り出されたことでした。

昭和24～25年頃には畑から古代の瓦が大量に出土しているのが発見され、また「郡山」という地名から、**この場所に古代の役所や寺院が存在していたのではと考えられるようになりました**。当時、瓦が葺かれる建物は役所やお寺といった建物に限られていました。また、「郡山」という地名は当時の郡（今でいう市町村）の中心地であった場所を指すことがあるため、そのように考えられました。

その後、昭和54（1979）年に初めて発掘調査が行われました。そこで発見されたものは**大きな建物の跡とたくさんの土器や瓦**でした。その後、継続的な発掘調査により、当時の様子が少しずつ明らかになりつつあり、この場所に**今から1350年ほど前に官衙（役所）や寺院があったこと**が明らかになりました。

それまで歴史資料に記録がなく、遺跡の存在に誰も思い及ばなかったため、この発見は大きな驚きをもって受け止められ、平成18（2006）年に国の史跡に指定されました。

なぜこの官衙の記録が歴史資料に残されなかったのでしょうか？はっきりした理由は分かっておらず、現在も調査研究が続けられています。

今年度は10月より郡山遺跡の発掘調査を実施予定です。



郡山地区の畑から瓦が出てきた様子（昭和20年代）



初めて行われた発掘調査（昭和54年）

大きな建物の柱跡だね

ガイドマップを刊行しました！



令和8年3月発行
仙台市文化財パンフレット第86集



郡山遺跡について現地を巡りながら知ることができるガイドマップ「歩いて見つける！郡山遺跡～むかしの役所を探検しよう！～」を作成しました。ぜひ、ガイドマップを手に現地を探検してみてください。現地の説明板を全て回ってコンプリートすると**12文字のキーワードが完成**します！

ガイドマップは現地の説明板で配布しています。

PDF版については仙台市文化財課のホームページにも掲載しています。右記の2次元コードからもダウンロード可能です。



「郡山遺跡かわら版」で遺跡について「ここが知りたい」、「もっと詳しく取り上げて」などのご要望があれば、気軽に下記の問い合わせ先まで、ご連絡ください。お待ちしております。

【こちらもチェック！】

郡山遺跡について
(仙台市ホームページ)



文化財課広報
公式SNS「X」



【お問い合わせ】



仙台市教育委員会 文化財課 整備活用係
TEL：022-214-8893
Mail:kyo019320@city.sendai.jp